学校番号	Ｔ０１１０

平成３１年度　国語科

教科	国語科	科目	国語総合	単位数	２	年次	２
使用教科書	新編国語総合　改訂版　（大修館書店）						
副教材等	独自プリント等						

１ 担当者からのメッセージ

・欠席することなく、積極的な態度で授業に臨むこと。
・授業は、主にプリントを配付して行う。配付したプリントは必ず保管すること。
・プリントは毎時間点検し、考査前にもそれまでの範囲のプリントを全て点検するので、板書事項は必ず記入し、保管の上復習する態度を養うこと。
・定期考査前には、試験範囲を指示するので、ポイントをしっかりおさえて考査に備えること。

、２ 学習の到達目標

国語の読む力、話す力、書く力の基礎を養いつつ、思考力を伸ばし心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	出席状況 授業態度 記述の点検 （プリント教材）	行動の観察 （発表等のパフォーマンスの評価）	記述の確認及び分析 定期考査 提出作文	授業態度 記述の点検 （プリント教材） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （プリント教材） 定期考査 小テスト等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期(4・5・6・7・9月)	小説を楽しむ	教材: 「子供たちの晩餐」 「感想をもとに話し合おう」 ・小説を読み、その楽しさを味わい、読書への意欲を高める。 ・読書の輪を広げるために、感想をもとに話し合い、意見交換をする態度を養う。	○	○	○	○	○	a: 作品に興味を持って意欲的に学習に取り組んでいる。小説の面白さを読み取ろうとしている。 b: テーマからそれないように気をつけながら話している。話し合いで大切なことに留意しながら話し合いを進めている。 c:読書の楽しさを理解し、他者に伝わるような、本の紹介文を書くことができる。 d:作品の構成と内容を理解している。登場人物の行動と心情を読み取っている。巧みな表現とその効果について理解している。話し合いを通じて作品を読み深める。 e:基本的な修辞法について理解している。語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。話し合いの手順ルールを理解している。	観察 出席状況、 授業態度、 プリントの記述、 定期考査等

	いのちと心	教材: 「心が生まれた惑星」 ・論理の展開をたどり、筆者の主張するところをつかむ。また、新しい分野への関心を広げていく。	○	○	○	○	○	a：「心」とは何か、 自分の視野を広げ、考えを深めようとしている。 b：教材の内容をふまえて、自分の考えをわかりやすく伝え、話し合いをしている。 c:筆者の伝えたいことを理解し、他者にわかりやすく書くことができる。 d：筆者が提起した問題とそれに対する結論を読み取っている。筆者が提示している具体例と、その例の果たしている役割を読み取っている。 e：語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。	観察 出席状況、 授業態度、 プリントの記述、 定期考査等
	読書を広げる	教材: 「羅生門」 ・さまざまな表現を味わいながら本格的な小説の世界に入り込み、読みを深める。 ・小説を読み、その楽しさを味わい、読書への意欲を高める。 ・作者の工夫した、時代や人物像をうきぼりにする表現を味わう。	○	○	○	○	○	a：作品に興味を持って意欲的に学習に取り組んでいる。 b：教材の内容をふまえて、自分の考えをわかりやすく伝え、話し合いをしている。 c：小説の末尾から受けた印象について自分の考えをわかりやすく伝えている。 d：作品世界の舞台（時代・日時・場所・人物など）、下人の心理推移、老婆の行動の原理、下人の行動の背後にある考え方を読み取っている。 e：作者や日本近代文学についての理解を深めている。普段なじみのない語句について、その意味を理解している。	観察 出席状況、 授業態度、 プリントの記述、 定期考査等

	読書を広げる	教材: 「夢十夜」 ・さまざまな表現を味わいながら本格的な小説の世界に入り込み、読みを深める。 ・小説を読み、その楽しさを味わい、読書への意欲を高める。	○	○	○	○	○	a：作品に興味を持って意欲的に学習に取り組んでいる。 b：「第一夜」と「第六夜」冒頭の一文の位置づけと、作品の構造を理解している。 c：様々な表現を味わいながら、小説の世界観について自分の考えをわかりやすく伝えている。 d：「第一夜」冒頭の一文の位置づけ、寓意を理解し、考えを深めようとしている。「第六夜」の構成・舞台・寓意を読み取っている。 e：語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。作者や日本近代文学についての理解を深めている。	観察 出席状況、 授業態度、 プリントの記述、 定期考査等
後期（10.・11.・12.・1・2・3月）	随筆の楽しみ	教材: 枕草子 「春はあけぼの」 「にくきもの」 随筆の文章表現の特色について理解する。古典の文法の基礎について理解を深める。	○	○		○	○	a：教材に興味を持って意欲的に学習に取り組んでいる。 b:古語を理解し、正しく読むことができる。 d：本文の構成、内容、自然のとらえ方を理解している。重要古語に注意し、現代語訳との対応に注意しながら本文を解釈している。 e：「枕草子」の内容や作者についての理解を深めている。重要古語を理解している。係り結びについて理解している。	観察 出席状況、 授業態度、 プリントの記述、 定期考査等

	物語の世界	教材: 伊勢物語 「芥川」 「筒井筒」 随筆の文章表現の理解。古典文法の基礎、登場人物の理解。 平家物語 「壇ノ浦の戦い」 軍着物の特徴を知り、的確に内容を読み取る。	○	○	○	○	○	a：教材に興味を持って意欲的に学習に取り組んでいる。古文や和歌に親しもうとしている。 b:古語を理解し、正しく読むことができる。 c：登場人物の性格や人物像について自分の考えをわかりやすく伝えている。 d：本文の内容を理解し、物語の展開をつかんでいる。登場人物の行動と心情を読み取っている。 e：和歌の修辞技巧と意味を理解している。当時の時代背景への理解を深めている。「壇ノ浦の戦い」の背景への理解を深めている。	観察 出席状況、 授業態度、 プリントの記述 定期考査等
	唐詩の調べ	教材: 自然のうた 「江雪」「山行」 友情の歌 「秋夜寄丘二十二員外」 「送元二使安西」 唐代の詩を読み、漢文独特の口調に習熟する。漢詩の形式や表現について理解する。	○	○		○	○	a：教材に興味を持って意欲的に学習に取り組んでいる。唐代の詩に親しみ、理解する。 b：現代語訳を確認した上で、漢詩の意味を正確に理解している。 d：繰り返し音読し、特有の口調に親しんでいる。詩の内容、作者の心情を理解し、現代語訳できる。 e：絶句の形式を理解する。作者についてを理解する。	観察 出席状況、 授業態度、 プリントの記述、 定期考査等

	孔子のことば	教材: 学問のすすめ いかに生きるか 「論語」 論語から出た、年齢を表す呼称とそれ以外の年齢の呼称を覚える。論語の若干を暗唱する。	○	○	○	○	○	a：教材に興味を持って意欲的に学習に取り組んでいる。論語について理解を深めている。「学」と「習」の意味の違いについて漢和辞典で調べる。 b：現代語訳を確認した上で、論語の意味を正確に理解している。 c：論語の内容について自分の考えをわかりやすく伝えている。 d：「学而第一」の役割、筆者の考えをまとめている。 e：「論語」がどのような書物なのか知り、「学而第一」についての理解を深めている。漢字の字義となりたち、漢和辞典の使い方を理解している。	観察 出席状況、 授業態度、 プリントの記述、 定期考査等

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解